

〔 英語ブロック 〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

141
☒ who [フー]

- 代 ① だれ、だれが
② 【関係代名詞】 …**である**[する]ところの

≪短縮形≫ **who** is = **who's**

※ **Who** are you? 『あなたはだれ?』
…とても失礼な表現になる。人の
名前をたずねるときにはふつう
May I ask your name? を使う。

Who is it? 『どちらさまでですか?』
【ドアのノック音を聞いて】

Who's calling, please?
『どちらさまでですか?』【電話で】

≪間接疑問文≫ …【ダントツ英文法】も参照。

※ 疑問詞を含む疑問文が、ある文の一部になって
語順が変わり「疑問詞+主語+動詞」になった文。

I don't know **who** he is.
『私は彼がだれなのか知りません。』

… **Who is he?** が **I don't know** の後ろについた文。
語順が変わり、主節の文(この場合では肯定文)
に応じて、文末のクエスチョンマークは不要。

Do you know what it is?
『あなたはそれが何なのかわかりますか?』

☆ 疑問詞が主語になっている文(… 疑問詞を
「～が」と訳すもの。「何が」「だれが」など)
では「疑問詞 + 動詞」の語順になる。

I knew what was in the box.
『私は何がその箱の中に
あるかを知っていました。』

… I knew のうしろに What was in the box?
「何が箱の中にありましたか?」がついた文。

≪関係代名詞≫ …【ダントツ英文法】も参照。

関係代名詞とは **接続詞** と **代名詞** の2つの働きを
1つの語がする働き。関係代名詞の用法を持つ語
には **who**, whose, which, that, whom がある。

☆ 関係代名詞 **who** は、先行詞が〔人〕で
うしろに **(助)動詞** が続くときに使う。
… that にも同様の用法があるので、
who は that と書き換えが可能。

☆ 以下のそれぞれの語も参照のこと。

whose …【単語帳 No. 155】

which …【No.159】 / that …【No. 9】

whom [フーム] … **who** の目的格。【高校レベル】
「だれを、だれに」と訳す。

※ whom は中学生の英語ではふつう学習しない。

Who is that boy? 『あの少年はだれですか?』

→ He is Ken. 『彼はケンです。』

Who are you looking for?

『あなたはだれを探しているのですか?』

→ I'm looking for my mother.

『私は私の母を探しています。』

※ 文法的には「だれを」という意味では Whom [左下に説明あり] を
使うべきだが、ふつう口語では **Who** を使う。

Who is playing the piano?

『だれがピアノをひいていますか?』

→ Meg is. 『メグです。』

※ **Who** を「だれが」と訳すので、**Who** がこの文の主語。
be 動詞がある文には **人名** + **be 動詞** の形で答える。

注 be 動詞は、主語や時制に応じて使い分けるので
複数の主語で答える場合には注意しよう!

… 例えば、「トムとメグがピアノをひいている」
ときは Tom and Meg are. と答える。

Who plays tennis every day?

『だれが毎日テニスをしますか?』

→ Emi does. 『エミです。』

※ **Who** が主語になっている文なので、答え方に注意!
一般動詞の文では、do, does, did を使って答える。
上の文では does が plays tennis を代用している。

Who [Which] is taller, Emi or Meg?

『エミとメグはどっちが背が高いですか?』

→ Meg is. 『メグです。』

※ 人を比べるときには Which よりも **Who** を使うことが多い。
※ Meg is のうしろに taller than Emi が省略されている。

Who [Which] can run faster, Tom or Ken?

『トムとケンはどちらが速く走ることができますか?』

→ Tom can. 『トムです。』

※ 助動詞がある文では、助動詞を使って答える。

※ Tom can の後ろに run faster than Ken が省略されている。

≪間接疑問文≫

I don't know **who** she is.

『私は彼女がだれなのかわかりません[知りません]。』

She knows **who** the man is.

『彼女はその男性がだれなのかを知っています。』

My mother remembered **who** came first.

『私の母はだれが最初に来たかをおぼえていました。』

≪関係代名詞≫

I know the girl **who** [that] came here yesterday.

『私は昨日ここに来たその少女を知っています。』

That man **who** [that] is playing tennis is my uncle.

『テニスをしているあの男性は私のおじです。』

〔 英語ブロック 〕 【重要ランク順】 オリジナル単語帳 〕

142

☒ **people** [ピープル] 発音注意

- ☐ 名 人々、世間の人々
 【複数形扱い、a をつけず、複数形の s もつけない】
 <<the people で>> 一般民衆、国民【複数形扱い】
 <<ふつう peoples で>> 民族、部族
 【この意味では複数形にする】

young **people** 『若い人々』
 Japanese **people** 『日本の人々』
 many [a lot of] **people** 『たくさんの人々』
 the **peoples** of Asia [エイジャ] 『アジアの諸民族』

There are five **people** in my family.
 『私の家族[うち]は5人家族です。』

Hundreds of **people** went to the station.
 『何百人もの人々がその駅へ行きました。』

There were a lot of **people** in the park.
 『その公園にはたくさんの人々がいました。』

People say [They say] (that) he is in Canada.
 『彼はカナダにいるそうです。』

※ **People** say ~, They say ~ はどちらも「～だそうです。～というわけです。」と訳す。→【No. 60…they】

143

☒ **when** [(ホ)ウエン]

- ☐ 副 いつ
 ☐ 接 ~ (する) ときに

<<短縮形>> **when** is = **when's**

when to ~
 『いつ～したらよいか、
 いつ～すべきか』

※ 疑問詞 + to ~ は、should を
 使った文と書き換えができる。

when to ~
 = **when** 主語 should ~
 『いつ～すべきか』

☆ 接続詞の **when** は

- ① 接続詞を文頭に使った文
 ② 接続詞を文中に使った文
 の2通りの英文を作れる。

※ ①のときは、文中にコンマ
 (,) が必要になる。
 … 右の例文を参照のこと。

When is your birthday? 『あなたの誕生日はいつですか?』

→ It is January 4. 『1月4日です。』

※ 日付はふつう数字で書き、序数の読み方をする。4 は (ザ) フォース と読む。

When do you play tennis? 『あなたはいつテニスをしますか?』

→ I play tennis after school. 『私は放課後テニスをします。』

When are you going to see Ken?

『あなたたちはいつケンに会うつもりですか?』

→ We are going to see him next week.

『私たちは来週彼に会うつもりです。』

He doesn't know **when** to start [when he should start].

『彼はいつ出発したらよいか[すべきか]知りません。』

She knows **when** Tom's birthday is. <<間接疑問文>>

『彼女はトムの誕生日がいつなのかを知っています。』

When I came home, my mother was watching TV. … ①

= My mother was watching TV **when** I came home. … ②

『私が帰宅したとき、私の母はテレビを見ていました。』

When he was young, he was called Kazu. … ①

= He was called Kazu **when** he was young. … ②

『彼は若かったとき、カズと呼ばれていました。』

144

☒ **help** [ヘルプ]

- ☐ 動 (～を) 助ける、手伝う
 ☐ 名 援助、助け

活用 : helped [ヘルプト]

– helped – helping

3単現形 : helps [ヘルプス]

help [人] with [物]
 『[人] が [物] するのを手伝う』
help oneself → 【単語帳 No. 774】
 『自分で自由に取って食べる』

Help me, please. 『私を助けて[手伝って]ください。』

May [Can] I **help** you? ① 『いらっしゃいませ。』【お店の店員】

② 『あなたを手伝ってもいいですか?』

Will you **help** me with my homework?

『私が宿題をするのを手伝ってくれませんか?』

Please **help** yourself. 『どうぞご自由にお召し上がりください。』

Thank you for your **help**. 『手伝って[助けて]くれてありがとう。』

The girl cried for **help**. 『その少女は泣いて助けを求めました。』

※ cry for ~ 「～を泣いて求める」→【単語帳 No. 683…cry】

〔 英語ブロック 〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

- 145
 ☒ everyone [エヴリワン] アクセント注意 Good morning, **everyone** [everybody].
 『おはようございます、みなさん。』
 (= everybody [エヴリバディ])
 代 みんな、みなさん、だれでも
 ※ 3人称単数扱い → 3単現のsに注意！
 ☆ **everyone** と **everybody** はほぼ同じ用法。
 口語では **everybody** のほうをよく使う。
- Everyone** [Everybody] knows it.
 『だれもがそれを知っています。』
Everyone [Everybody] likes that teacher.
 『みんながあの先生を好きです。』
 = That teacher is liked by **everyone** [everybody].
 『あの先生はみんなから好かれています。』

- 146
 ☒ where [(ホ)ウエア]
 副 どこに、どこへ、どこで
 代 どこ
 ≪短縮形≫ **where** is = **where's**
- where** to ~
 『どこに[へ]で~したらよいか、
 どこに[へ]で~すべきか』
 = **where** 主語 should ~
 『どこに[へ]で~すべきか』
- Where** am I?
 『私はどこにいますか?』
 ※ 自分がどこにいるかわからない
 ときに使う表現。
 比較 Who am I?
 『私はだれですか?』
 ※ 記憶喪失などで自分のことが
 わからないときに使う表現。
- Where** do you live? 『あなたはどこに住んでいますか?』
 → I live in Tokyo. 『私は東京に住んでいます。』
Where is your school? 『あなたの学校はどこですか?』
 → It's near the park. 『それは公園の近くにあります。』
Where were you? 『あなたはどこにいたのですか?』
 → I was in the library. 『私は図書館にいました。』
 He doesn't know **where** to go [**where** he should go].
 『彼はどこへ行ったらよいか[行くべきか]わかりません。』
 She knows **where** Ken lives. ≪間接疑問文≫
 『彼女はケンがどこに住んでいるか知っています。』
Where are you from? (= **Where** do you come from?)
 → I'm from Canada. (= I come from Canada.)
 『あなたはどこの出身ですか?』 『私はカナダ出身です。』
 ※ 「~出身です」には、be 動詞 + from ~ / come from ~ の2種類が
 あり、be 動詞 + from ~ で聞かれたときには be 動詞 + from ~ で、
 come from ~ で聞かれたときは come from ~ で答える。
 → 【単語帳 No. 19 ... from】、【No. 136 ... come】

- 147
 ☒ get [ゲット]
 動 ~を手に入れる、もらう、買う
 理解する、~になる
 活用 : got [ガット/ゴット]
 - got / gotten [ガットウン/ゴットウン]
 - getting
 3単現形 : gets [ゲッツ] ~ing
注意
- get** up 『起きる』
get to ~ 『~へ着く』
get home 『帰宅する、家に着く』
 ※ home は副詞なので前置詞は不要。
get on ~ 『(列車・バスなど)に乗る』
get off ~ 『(列車・バスなど)を降りる』
 I **got** it. 『わかりました。』
 ※ この表現では過去形を使う。
- He **got** a new bike. 『彼は新しい自転車を手に入れました。』
 ※ 文脈や会話の内容によっては「買いました」の意味にもなる。
 Emi **got** a letter from Tom.
 『エミはトムから(1通の)手紙をもらいました。』
 I **get** up early every morning. 『私は毎朝早く起きます。』
 We **got** to the station at ten.
 『私たちは10時に(その)駅に着きました。』
 → 【単語帳 No. 593 ... arrive】、【No. 896 ... reach】も参照のこと。
- Get** on [off] the bus. 『バスに乗りなさい[を降りなさい]。』
 ※ 乗用車やタクシーなど、せまい乗り物に乗るときには **get** in、
 降りるときには **get** out of を使う。
 I **got** home at five. 『私は5時に帰宅しました。』
 It's **getting** dark. 『暗くなりかけています。』
 He will **get** well soon. 『彼はすぐに具合が良くなるでしょう。』
 ※ **get** well 「(病気・具合などが)良くなる」

〔 英語ブロック 〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

148

☒ **man** [マあん]

発音注意

※ 複数形は **men** [メン]☒ **名** 男性、男の人 (⇔ woman)

《男女を問わずに》 人

※ person や people を使うほうがふつう。

人類【a をつけず、複数形にもしない】

a young **man** 『若い男性、若者』an old **man** 『老人』A young **man** spoke to me.

『若い男性が私に話しかけてきました。』

Who is that old **man**? 『あの老人はだれですか?』Do you know those **men**?

『あなたはあの男性たちを知っていますか?』

※ those 「あれらの」は that の複数形 → 【No. 160… those】

A **man** can not live alone. 『人は1人では生きられない。』

→ 【単語帳 No. 519… alone】

149

☒ **woman** [ウマン]

発音注意

※ 複数形は **women** [ウイミン]☒ **名** 女性、女の人、婦人 (⇔ man)a young **woman** 『若い女性』an old **woman** 『老婦人』a **woman** doctor 『女医』

※ 最近では男女を区別する表現を避ける傾向にある。

I talked with the **woman** yesterday.

『私は昨日その女性と話しました。』

Who is that old **woman**? 『あの老婦人はだれですか?』An American **woman** is standing by the door.

『(1人の)アメリカ人の女性がドアのそばに立っています。』

There were two **women** in this room.

『この部屋には2人の女性がいました。』

150

☒ **time** [タイム]☒ **名** 時刻【a をつけず、複数形にもしない】

時間 (⇔ space 「空間」、期間

…回、…倍

《ふつう times で》 時代

at that **time** 『そのとき』 (= then)for a long **time** 『長い間』for the first **time** 『初めて』have a good **time** 『楽しく過ごす』at the same **time** 『同時に』in **time** 『間に合って』**Time** is money.

『時は金なり。』【ことわざ】

What **time** is it now? 『今何時ですか?』※ アメリカでは Do you have the **time**? と時間を聞くこともある。
この場合は、例外的に **time** に the をつける。What **time** do you get up every morning?

『あなたは毎朝何時に起きますか?』

Ken was studying math at that **time** [then].

『ケンはそのとき数学を勉強していました。』

I have no **time** to read this book.

『私はこの本を読む時間がありません。』

It's **time** for lunch [to go to bed now].

『昼食の[もう寝る]時間です。』

How many **times** a week do you go to the library?

『あなたは週に何回その図書館へ行きますか?』

→ Twice a week. 『週に2回です。』

He met Emi for the first **time**. 『彼は初めてエミに会った。』I have lived here for a long **time**. <現在完了形>

『私は長い間ここに住んでいます。』

I had a very good **time** in Kyoto.

『私は京都でとても楽しく過ごしました。』

Time is up. 『時間切れです。/ 残り時間はありません。』Australia is about twenty **times** as large as Japan.

『オーストラリアは日本の約20倍の大きさです。』

Three **times** four is [are] twelve. ※ is, are どちらでもよい。

『3かける4は12。(3×4=12)』

~ **times** as ... as — 『一の～倍の…』

→ 【単語帳 No. 614… as】

☆ かけ算も **time(s)** を使って表現する。

〔 英語ブロック 〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

- 151
 ☒ **their** [ゼア] ※ they の所有格 I know **their** father. 『私は彼らのお父さんを知っています。』
 ※ father が単数形なので、「彼ら」は兄弟(姉妹)であることになる。
their fathers ならば、複数組の父子がいることになる。
- 代 彼らの、彼女らの、それらの
 ※ 文脈や状況に応じて訳し分ける。
- 同音語：there (そこへ)
 they're (... they are の短縮形)
- their** と there (そこへ) はスペリングが似ているため、書き間違いが多いです。しっかり区別して覚えましょう。
- Their** cars aren't new. 『彼らの車は新しくありません。』
 The girls closed **their** books.
 『その女の子たちは彼女らの本を閉じました。』
 I knew **their** names. 『私はそれらの名前を知っていました。』

- 152
 ☒ **stand** [スタあんど]
- 動 立つ、立っている (⇔ sit)
 (建物が) ~にある【←ふつう進行形にしない】
- 活用：stood [ストウツド]
 - stood - standing
- 3単現形：stands [スタあんツ]
- stand** up 『立つ、立ち上がる』
stand by ~ 『~の味方をする』
stand for ~ 『~の略である、~を表す』
- Stand** up. 『立ちなさい。』 (⇔ Sit down. 『座りなさい。』)
 Emi is **standing** at the door.
 『エミはドアのところに立っています。』
 Ken **stood** on his head. 『ケンも逆立ちをしました。』
 Our school **stands** on that hill.
 『私たちの学校はあの丘の上にあります。』
- ☆ **stand** には「我慢する、耐える」の意味もある。
 I can't **stand** this pain.
 『私はこの痛みをがまんできない。』

- 153
 ☒ **sit** [スイット]
- 動 座る、座っている (⇔ stand)
- 活用：sat [サアット]
 - sat - sitting
- 3単現形：sits [スイッツ]
- ~ing 注意
- sit** down 『座る』
sit on [in] ~ 『~に座る』
 → 右の例文 (Please **sit** ~) を参照。
- Sit** down. 『座りなさい。』 (⇔ Stand up. 『立ちなさい。』)
 ※ Be seated. 「座りなさい。」という表現もある。→ 【No. 681 ... seat】
 Please **sit** on a **chair** [sofa]. 『いす[ソファ]に座ってください。』
 ※ ひじかけのあるいすなどに深く座るときには in を使う。
 Ken is **sitting** on a bench. 『ケンもベンチに座っています。』
 Meg **sat** at the table. 『メグはテーブルにつきました。』
 ※ **sit** at ~ 「(テーブル・机などに)つく」の意味。
 ☆ **sit** up 「背筋を伸ばして座る、起きている」という表現もある。

- 154
 ☒ **teacher** [ティーチャ]
- 名 先生、教師 (⇔ student)
- 関連語：teach (教える)
 → 【単語帳 No. 138】
- a **teacher** of math 『数学の先生』
 = a math **teacher**
- a **teacher**'s room 『職員室』
 複数形の名詞に ~'s (~の) をつける場合はアポストロフィだけをつける。
- 例 a girls' high school
 『女子校』
- Mr. Saito is a **teacher** of English [an English **teacher**].
 『斉藤先生は英語の先生です。』
- ※ an English **teacher** は強く読む部分によって日本語訳が異なる。
 English を強く読むと → 『英語の先生』
teacher を強く読むと → 『イギリス人の先生』
- ※ 先生を呼ぶときは、Mr. Hara, Ms. Smith のように呼ぶ。
 英語では、日本語の「先生!」のように、**Teacher**. とは言わない。
- Our math **teacher** is Ms. Okada.
 『私たちの数学の先生は岡田先生です。』
 I want to **be** [become] a **teacher**. 『私は先生になりたい。』
 There are twenty **teachers** in our school.
 = Our school has twenty **teachers**.
 『私たちの学校には20人の先生がいます。』

〔 英語ブロック 〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

155

☒ whose [フーズ]

- 代 ① だれの、だれのもの
 ② 【関係代名詞】
 その…が～するところの

≪関係代名詞の whose≫

… whose のうしろには、無冠詞の名詞
 (a, an, the のつかない名詞)を使う。

例 my father, the father は
 冠詞がついている名詞。
 father は無冠詞の名詞。

※ この whose は who, which の所有格。

※ whose の関係代名詞の用法は、学習指導要領を越えた内容ですが、
 難関私立高校等では出題の可能性があるので記載しています。

- ① **Whose** book / is this? 『これはだれの本ですか?』
 ② **Whose** / is this book? 『この本はだれのものでしょうか?』
 → It's mine [Tom's]. 『それは私のもの[トムのもの]です。』
 ※ ①②は ほぼ同意の文なので
 書き換えができる。
 答え方は、①②とも同じになる。
 /… 意味的に切れるところ。

息つきをするときは、
 意味のつながっている
 部分に注意しよう!

≪関係代名詞≫

I have a friend **whose** name is Meg.

『私にはメグという名の友達がいます。』

I know a boy **whose** father is a doctor.

『私は父が医者の子供を知っています。』

※ 少年のお父さんの職業が医者。

156

☒ them [ゼム]

- 代 彼らを、彼らに
 彼女らを、彼女らに
 それらを、それらに

※ they の目的格
 → 【代名詞表(13ページ)】

Do you know Emi's brothers? 『あなたはエミの兄弟を知っていますか?』
 → Yes. I know **them** well. 『はい。私は彼らをよく知っています。』
 ※ 文脈や内容によって「彼ら/彼女ら/それら」を区別して訳す。(以下も同様)

All of **them** were happy. 『彼女たち[彼ら]全員が幸せでした。』

Ken bought two books and read **them** soon.

『ケンはお書を2冊買って、すぐにそれらを読みました。』

※ read … 文脈と、3単現の s がいないことから考えて過去形。[れッド]と発音する。

157

☒ know [ノウ] 発音注意

動 (～を)知っている、わかる

同音語: no (いいえ)

活用: knew [ニュー] ※ new の同音語。

– known [ノウン] – knowing

※ know は「状態」を表す動詞なので、
 ふつう進行形(～ing)にはしない。

3単現形: knows [ノウズ] … 同音語: nose (鼻)

you **know** 『ほら、あのね』
 as you **know** 『ご存知のように』
 be **known** to ~ 『～に知られている』
 be **known** as ~ 『～として知られている』

I don't **know**. 『わかりません。知りません』

Emi **knows** him well. 『エミは彼をよく知っています。』

I **knew** the news. 『私はそのニュースを知っていました。』

Ken doesn't **know** (that) Meg is sick in bed.

『ケンはメグが病気で寝ていることを知りません。』

I **know** how to swim. 『私は泳ぎ方を知っています。』

We have **known** each other for ten years.

(→ 『私たちは10年間お互いを知っています。』)

→ 『私たちは10年来の知り合いです。』

The singer is **known** to everyone.

『その歌手はみんなに知られています。』

158

☒ these [ザーズ] ※ this の複数形

- 代 これら、この人たち (⇔ those)
 形 これらの (⇔ those)

※ 『これ』『この』と訳すほうが自然な
 日本語訳になることもある。

these days 『近ごろ、このごろ』

These are my books. 『これらは私の本です。』

These are Meg's shoes. 『これはメグの靴です。』
 … この場合は「これら」よりも「これ」のほうが自然。

Do you know **these** boys?

『あなたはこの少年たちを知っていますか?』
 … この場合は「これらの」よりも「この」のほうが自然。

I have been busy **these** days. 『私はこのごろ忙しいです。』

〔 英語ブロック 〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

159
☒ **which** [(フ)ウィッチ]代 ① どちら、どれ
② 【関係代名詞】
…である[する]ところの

形 どの

※ **which** は限られた範囲の中で選ぶときに使う疑問詞。例 **Which** subject ~ ?
『どの教科を[が]~』

※ what は範囲がとくに決まっていないうちに使う疑問詞。

例 What color ~ ?
『何色を[が]~』**which** (名詞) to ~『どちらの[名詞]を~したらよいか、
どちらの[名詞]を~すべきか』
※ should を使って書き換え可。

《関係代名詞》

…【ダントツ英文法 lesson95,96】参照。

※ 関係代名詞 **which** は、先行詞が〔物〕または〔動物〕で、後ろに〔助動詞〕または〔主語+動詞〕が続くときに使う。

… 後ろに〔助動詞〕が続く形は【主格】、後ろに〔主語+動詞〕が続く形は【目的格】。

※ that にも同様の用法があるので、**which** は that と書き換えが可能。**Which** is your pen? 『どちらがあなたのペンですか?』
= **Which** pen is yours? 『どちらのペンがあなたのものですか?』
→ The red pen is mine. 『(その)赤いペンが私のものです。』**Which** do you like better, summer or winter?
『あなたは夏と冬とはどちらのほうが好きですか?』
→ I like summer better (than winter).
『私は(冬よりも)夏が好きです。』**Which** [Who] is taller, Ken or Tom? ※ 疑問詞が主語になっている。
『ケンとトムではどっちが背が高いですか?』
※ 人と人をくらべるときには **Which** より Who を使うことが多い。
→ Tom is (taller than Ken). 『トム(はケンより背が高い)です。』She didn't know **which** (book) to read.
『彼女はどちら(の本)を読んだらよいかわかりませんでした。』
(※ 直後に名詞があるときの **which** は形容詞)
= She didn't know **which** (book) she should read.
『彼女はどちら(の本)を読むべきかわかりませんでした。』

《関係代名詞》… (1)(2)は【主格】、(3)(4)は【目的格】

- (1) I have a dog
- which**
- [that] runs very fast.
-
- 『私はとても速く走る犬を飼っています。』
-
- (2) The pencil
- which**
- [that] is on the desk is mine.
-
- 『机の上にあるそのえんぴつは私のものです。』
-
- (3) This is a camera
- which**
- [that] Tom bought in China.
-
- 『これはトムが中国で買った(1台の)カメラです。』
-
- (4) The book
- which**
- [that] I read yesterday
-
- was very interesting.
-
- 『私が昨日読んだその本はとてもおもしろかった。』
-
- ※ read は過去形なので [れッド] と読む。

160
☒ **those** [ぞウズ] ※ that の複数形

代 あれら、それら、あの人たち (⇔ these)

形 あれらの、それらの (⇔ these)

※ 『あれ』『あの』と訳すほうが自然な日本語訳になることもある。

in **those** days 『そのころは、当時は』比較 these days 『近ごろ、このごろ』
→ 【単語帳 No. 158… these】

単数形	複数形
this (これは)	these (これらは)
that (あれは)	those (あれらは)
it (それは)	they (それらは / 彼らは / 彼女らは)

Are **those** your notebooks?
『あれらはあなたのノートですか?』
→ No, they're not. 『いいえ、そうではありません。』**Those** are my shoes. 『あれは私のくつです。』
… この場合は「あれら」よりも「あれ」が自然。Do you know **those** girls?
『あなたはあの女の子たちを知っていますか?』
… この場合は「あれら」よりも「あの」が自然。There are no computers in **those** days.
『当時はコンピューターはありませんでした。』← スペルがよく似ています。
しっかり区別して覚えましょう。
※ these → 【単語帳 No. 158】
they → 【単語帳 No. 60】